

令和7年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
畜産部門

無化学肥料の牧草と高品質チーズをデータ重視で生産する酪農経営

○氏名又は名称 有限会社 富田ファーム（代表 富田 泰雄）

○所 在 地 北海道紋別郡興部町

○出 品 財 経営（酪農）

○受賞理由

・地域の概要

興部町は、北海道北東部のオホーツク海沿岸中央に位置し、総面積362.45km²である。水産業が盛んでその漁獲高は70.4億円を誇るが、農林水産業生産額の第1位は79.2億円の畜産であり、中でも酪農の生乳生産量は63.9千t、67.7億円（86%）と大きな比重を占めている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

（有）富田ファームでは、フリーストール牛舎で192頭の乳牛を通年舎飼いし年間約790tの生乳を生産している。粗飼料は、無化学肥料の牧草（68ha）と低化学肥料のトウモロコシ（12ha）を生産してサイレージ貯蔵し自給している。また、代表の長女の佳子氏が平成14年から始めたチーズ加工は、その後に夫も担当することでさらに成長し、平成18年からは経営全体を法人化した。

・受賞者の特色

（1）化学肥料（N、P、K）を無施肥あるいは低減した粗飼料生産

① イネ科・マメ科混播牧草について、土壤分析や飼料分析等の科学的データの蓄積・活用を重視し、25年以上にわたり化学肥料を使用せず、スラリー（液状化したふん尿）と石灰の施用のみで、牛の嗜好性が良い高品質粗飼料を慣行と同程度の収量で生産する栽培方法を確立した。

② 飼料用トウモロコシ栽培においても、科学的データに基づき化学肥料の使用量を地域慣行の半分に抑え、堆肥を活用した有機物循環システムを構築した。

（2）良質粗飼料に支えられた高品質チーズのブランド化と地域活性化

① フリーストール牛舎内で良質粗飼料を年間通じて安定的に給与することで生乳品質の平準化を図り、高品質チーズの製造とブランド化に成功し、ワールドチーズアワード銀賞をはじめ、国内外で多くの賞を受賞した。

② 受賞したブルーチーズほか多種類のチーズは直売所、道の駅、空港、通信販売等販路を拡大し、地域活性化にも貢献している。

これらのチーズ製造販売では、代表の長女の佳子氏夫婦の活躍が大きい。

・普及性と今後の発展方向

化学肥料を削減した粗飼料生産は、「みどりの食料システム戦略」に沿った先進的な取組であり、土壤分析等に基づく科学的データの蓄積・活用は今後の酪農経営のモデルとして普及が推奨される。また、高品質のチーズ製造部門は販売額が伸びているため、更なる発展が期待できる。